

☆ 世 界

綿 花 2017/18 年度の在庫は横ばい

国際綿花諮問委員会 (ICAC) によると、2017/2018 年の世界の綿花ミル消費は、前年比 2%増の 2,510 万トとなる見込み。同年の綿花生産は前年比 9%増の 2,510 万トとなる見込み。その結果、同年の期末在庫は前年比横ばいの 1,850 万トとなる見込み。

2017/18 年の綿花期末在庫は、中国の在庫は前年比 16%減の 890 万ト、世界の 48%を占める見込み。その一方、中国以外の在庫は 22%増の 960 万トの見込み。中国政府は、2017 年 5~8 月にかけて、政府備蓄綿花を 300 万ト以上放出した結果、政府在庫は、2017 年 8 月末時点で 630 万トまで縮小した。

2017/2018 年の世界の綿花作付面積は、前年比 9%増の 3,190 万ヘクタール。世界の平均イールドは 789kg/ヘクタールの見込み。

2017/2018 年の世界の綿花生産は前年比 9%増の 2,510 万トとなる見込み。インドは、2017/18 年も世界最大となり、4%増の 600 万トの見込み。中国は 2016/17 年までの 4 季連続で生産減であったが、2017/18 年は回復し 7%増の 520 万トとなる見込み。米国は 20%増の 450 万トの見込み。但し、テキサス州を襲った直近のハリケーンの影響がどの程度かを考慮する必要がある。パキスタンは 17%増の 200 万トとなる見込み。

世界の綿花消費は、ここ 2 年は、世界経済の停滞から、2015/16 年は 2%減、2016/17 年は 1%増で推移していたが、2017/18 年は前年比 2%増の 2,510 万トと回復傾向。中国の綿花消費は 1%増の 810 万トの見込み。インドは、3%増の 530 万トとなる見込み。バングラデシュは横ばいの 140 万トの見込み。8 月の洪水の影響で同国のインフラ、物流に損害を与えたことが影響した。

世界の綿花需給見通し

(100 万ト)

	2015/16	2016/17	2017/18
生産	21.48	23.07	25.14
消費	24.19	24.55	25.12
輸入	7.57	7.90	7.88
輸出	7.55	8.17	7.88
期末在庫	20.25	18.54	
価格 *	70	83*	69*

*Cotlook A インデックス(セント/ポンド)価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通しをもとに推計した。